

日本大学三島高等学校 同窓会会報

第 37 号

平成 20 年 3 月 1 日
静岡県三島市文教町 2
日大三島高校同窓会 発行



春暖の候、日本大学三島高等学校同窓会の皆様におかれましては、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、会員各位の同窓会への活動におかれまして同窓会長を承認され今年10月を以って4年目の最終年を迎えることとなりました。

顧みれば先ずは同窓会の組織の充実を図るため各支部の活動がどのように施策したら活性化するかに重点をおき、各支部の総会に出席させていただきその活動状況の中で支障を来す要因は何があるのかを探ったり、各支部の特色を生かすべくその方策を助言し長きに渡っての同窓会の発展を期待し意図したところであります。

また本校同窓会の各支部が県内で広範囲に渡っており本部との意志の疎通が堅固なものでなくてはなりません。その為には各支部に役員及び担当者を配置し、そのことによって開けた風通しの良い同窓会をめざしました。

会員各位のお力添えをお願いし現在の本校同窓会はその組織においてしっかりとしたものと確信しております。

また各支部もその特色を生かし大変努力されていることを感じ同窓会として学校からの要望・要請に対処する為に本部での会議を起こし各支部に対しご援助

させていただいて参りました。

また今期は50周年に関する様々な行事が控えておりますのでその組織づくりと行事に関する担当部門の人選を準備し、母校はもとより会員各位のお力添えをお願い申し上げ立派な行事が実行されますように準備を整えております。

平成21年新校舎第1期完成に合わせて、記念式典が挙行されることになります。

また新校舎が建築された折には同窓会として使用できる部屋を確保し、会員の皆様が自由に使用できるように母校にお願いしております。

終わりにあたり今年10月までが私の任期で最後の集大成として会員各位のご協力をお願い申し上げ、各支部の大きな活性化を期待し来るべき50周年記念式典が素晴らしい結果として得られるべく決意する次第でございます。

今後とも同窓会の皆様のご理解とご鞭撻をお願い申し上げ、あわせて母校の発展を祈り会員各位のご健勝とご多幸を祈念し、同窓会の変わらぬご支持を賜りますよう伏してお願い申し上げます。



平成19年度 桜陵祭 体育大会



同窓会会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。平素は母校ならびに在校生に対する温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。第48期卒業生653名を迎える同窓会の会員数は49,223名に達しました。日本大学の同窓生が100万人といいますから、日本人の20人に1人は日大三島高校出身ということになります。現在、卒業生の多くは自分の才能を大いに發揮して幅広い分野で活躍し、本校の名声を高めています。

三島市は自然条件に恵まれ、古代から人々の生活に適した町でした。日本大学三島高等学校は、昭和33年4月、「水と緑と人が輝く夢あるまちづくり」を目指しているこの地に、1期生304名を迎えて誕生しました。来年度は創設50周年になります。進学クラス、特進クラス、国際クラスの3つのコースで多様化する生徒の個性に応じた質の高い教育を実践しています。6年前には長期的展望に立ち、中学校を開校し中高一貫教育を立ち上げました。現在は中学・高校共に優秀な生徒が集い、88%という高い大学進学率を示し、文武両道の進学校として高く

評価されています。また、国際関係学部の併設校として、緑に囲まれた恵まれた教育環境の中で中高大連携教育を推進しています。

本校では3年前から「学祖山田顕義とその偉業」をテーマに、日本大学生涯学習センターの公開講座を実施し、日本大学設立当時の様子や、山田顕義とその師・吉田松陰のエピソードを交え、軍人として、また教育家として活躍した学祖の生涯に現在の「日大的精神」のルーツがあることを学ばせてています。

読売新聞が実施した『日本人の国家観』を問う世論調査によれば、「日本国民であることを誇りに思う」と答えた人は93%、誇りに思うことに「歴史、伝統、文化」を上げている人が72%、「国民として、ぜひとも国の役に立ちたい」と思う人が73%に上っています。

日本国民として誇りに思う日本人の心は、「同窓生として母校を愛し、地域や故郷を敬う心」に通じます。来年度、記念すべき創設50周年を迎えますが、次の100周年に向けて「人づくりは日大三島から」を合言葉に地域に張った根をさらに広く、大きな幹の大木に育てていきたいと思います。

現在、記念すべき50周年に向けて、在校生、保護者、同窓生が一体となって準備を進めている行事には、桜陵祭に「ウォーターポーイズの公演」、秋には「仙台フィルハーモニーによる音楽会」等があります。最大の行事は新校舎建設です。21年7月、現在のテニスコートの位置に6階建ての一期工事が完成します。その完成に合わせて、創設50周年記念式典を挙行する予定です。

21年度は、日本大学が創立120周年を迎える記念の年でもあり、同窓生に感謝し、築かれた伝統をさらに発展させていきたいと考えています。

新校舎建設に向けて



- 事業総額 52億7,000万円
- 募金目標額 3億円
- 募金額 一口1万円
(なるべく三口以上の御協力をお願いいたします)

○募金期間 自 平成17年6月1日
至 平成21年3月31日

*くわしくは、母校事務課にお問い合わせください。
電話 055(988)3500
FAX 055(988)3517



50周年記念ロゴマーク
3年10組 藤原周平君の作品
(平成20年3月卒業)



新入会員を迎える
さくじん

「時の流れの中で」

第28期生
竹中朝崇

私が本校を卒業して早いもので20年という月日が流れました。「光陰矢の如し」という言葉で、諸先生方からいろいろとアドバイスをいただいたことを思い浮かべますが、この年になり言葉の意味を実感しています。

若いころはお金がなくても、時間は数多くあるもの。その時にどのような体験をするのか。私の場合、旅をすることが好きでしたが、当然、お金はありません。よって「青春18きっぷ」の旅。長い時は東京から四国まで1週間かけ、のんびりと旅をしたものです。学生時代の目標の一つに日本列島をすべて周りたい。日本史を専門として学んでいた私は、日本の良さを知りたい一心から行動したものです。その中で貴重な文化財や自然に触れ、また何よりも人との出会い、そして人の優しさに触れる機会を得たことは、貧乏旅行でも得られたよき思い出であり、財産です。

皆さんが「自由」に使うことができる時間は、年を重ねるとともに限られてきます。ムダだと思われることでも、今しかできないことに挑戦してみよう。しかし、疲れた時には立ち止まる。この日大三島高校で過ごした仲間たちとの月日を思い出して下さい。48期生の活躍を期待しています。



新入会員の言葉

想い出

第48期生代表
杉山拓也

日を重ねるごとに、春の訪れを感じられるようになりました。卒業を迎えると同時に、私たち第48期卒業生は、日本大学三島高等学校同窓会に入会させて頂くことになりました。今、この学校があるのは、数え切れない程多くの先輩方による努力のお陰であり、それだけ伝統のある学校の卒業生として関わりが持てることに、親しみを感じます。

この高校生活3年間を振り返ってみると、時間の早さに驚きを隠せません。人生の節目において、誰もが今までの出来事を振り返ると思います。過去を「振り返る」というのは「思い出す」ことであって、比較的簡単にできます。たった3年間の高校生活の中には内容の濃い想い出がたくさん詰まっていると思います。いつまでもこの高校生活の想い出が忘れることのないモノになってほしいと思います。

各支部長一覧

| 支部名 | 三島 | 田方 | 沼津 | 裾野 | 御殿場 | 富士 | 富士宮 | 静岡 | 熱海 | 小田原 |
|-----|--------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 氏名 | 三浦正康 | 内田敏明 | 高木淑夫 | 眞田正義 | 高杉忠 | 日置信弘 | 秋山一雅 | 石川良次 | 谷口俊司 | 川口功一 |
| 住所 | 三島市寿町七一三九 | 伊豆の国市吉田八三九一四 | 沼津市沼北町一一五二三 | 裾野市金沢二六四一五 | 駿東郡小山町古城四四 | 富士市厚原二一六九一一 | 富士宮市浅間町四一一五 | 静岡市駿河区稲川三一九一〇 | 熱海市上多賀九二〇一 | 小田原市東町四五二〇 |
| TEL | (〇五五)九七五一〇六二 | (〇五五八)七六一一三三七 | (〇五五)九三二一一〇二六 | (〇五五)九九七一四八四 | (〇五四五)七六一三四八四 | (〇五四五)七一一〇一六六 | (〇五四四)二六一三八四七 | (〇五四)二八五一三三三 | (〇五五七)六八一四〇二二 | (〇四六五)三四一三五三七 |

クラス幹事



- | | | | |
|----|-------|-----|-------|
| 1組 | 竹森悠介 | 10組 | 坂口亮介 |
| 2組 | 荒木由紀乃 | 11組 | 長島晃一朗 |
| 3組 | 吉田麻妃子 | 12組 | 山脇敬之 |
| 4組 | 中村優介 | 13組 | 石井愛 |
| 5組 | 門馬恵莉香 | 14組 | 内田恭平 |
| 6組 | 高橋直人 | 15組 | 代田清嗣 |
| 7組 | 井上実香 | 16組 | 神尾誠也 |
| 8組 | 竹村美香 | 17組 | 萩原健太 |
| 9組 | 樋口雅美 | 18組 | 廣瀬涼 |

以上の人たちがクラス幹事となりました。将来、クラス会などをひらく時は連絡をとり合って、意義のある人生を歩むよう願っています。

同窓会総会 平成19年10月19日(金) 於 グランドホテル三島

役員

恒例の総会が平成19年10月19日に開催された。今年も来賓として日本大学国際関係学部長、佐藤三武朗先生をお招きしての会となった。議事については下記の事業報告の通りである。毎年ながら、還暦を迎える会員が増していく会となっている。母校50周年を迎える同窓会の歴史もあるが、さらに若い会員の活躍を期待したい。必ずしも大きな会でなくてもよいと思う。クラス会やら、ちょっとした地域の集まりなど、細く長いつき合いが必要だ。それが真の同窓会の絆というものだろう。

どんな会合でも、楽しく集まつた催しがあれば母校事務局までお知らせください。



還暦を迎えた会員



全体大議・久保田会長挨拶



母校での新しい教員を迎えて

| 役職 | 氏名 |
|---------|---------------|
| 会長 | 久保田光 (1期) |
| 副会長 | 今井信之 (1期) |
| △ | 田中哲雄 (1期) |
| △ | 藤幡俊量 (11期) |
| △ 女子部会長 | 石橋倍子 (4期) |
| 幹事長 | 滝口文昭 (6期) |
| 副幹事長 | 庄司一洋 (7期) |
| △ | 山本弥之 (4期) |
| 会計監査 | 柳田和夫 (10期) |
| △ | 渡辺昌宏 (11期) |

平成19年度 事業報告

- 総会 平成19年10月19日 グランドホテル三島
 - 会長挨拶 久保田光
 - 来賓挨拶 国際関係学部長 佐藤三武朗先生
学校長 高桑 豊先生
 - 議事 (事業報告・決算報告・事業計画・予算案・50周年記念行事)
 - 懇親会 (アトラクション)
- 幹事会・役員会
 - 平成19年4月11日 役員会 母校校長室
創設50周年記念事業 準備委員会
 - 平成19年5月16日 役員会 母校校長室
第1回準備委員会 創設50周年記念事業
名簿管理をSBSから高校事務課へ
 - 平成19年6月18日 幹事会 母校大会議室
第2回準備委員会 校舎新築同窓会室
会員名簿学校管理 記念同窓会誌
記念同窓会事業 記念同窓会準備委員会
 - 平成19年7月13日 第3回準備委員会 大会議室
寄付金 同窓会誌 記念講演会 イベント
名簿学校管理 中学職場体験依頼 同窓生記念
講演講師推薦 総会 静岡支部の行事補助の件
 - 平成19年9月14日 幹事会 母校大会議室
第4回準備委員会 総会 名簿管理 記念行事

中学職場体験 記念講演 静岡支部の件

- 平成20年2月1日 幹事会 グランドホテル三島
第48期生同窓会入会式 会報発行 新校舎建設進捗状況 50周年記念事業

3. 事業

- 平成20年2月16日 母校8号館
 - 第48期生同窓会入会式
奨学金 藤原遙子・杉本駿
奨励金 塩澤のぞみ (放送部)

- 記念講演会
講師 高橋史安 商学部教授 本校12期
テーマ「第48期生に贈る言葉」

- 平成20年3月1日 同窓会会報発行 第37号

4. 支部

- 富士支部 平成19年5月12日 富士ホワイトパレス
7月21日 納涼親睦会
- 静岡支部 平成19年5月25日 静岡ステーションホテル
他8回
- 裾野支部 平成19年5月26日 勢力
- 三島支部 平成19年6月1日 グランドホテル三島
- 御殿場支部 平成19年6月8日 御殿場高原ビール
- 沼津支部 平成19年6月29日 沼津東急ホテル
- 小田原支部 平成19年11月24日 富士屋ホテル

5. 女子部会・各期等

- 女子部会 平成19年3月10日 三島プラザホテル
- 女子部会 平成19年5月20日 母校桜陵祭参加

ご定年によって退職される先生方



青木 正明 先生



南谷 光一 先生

- 奉職年月日 昭和41年4月1日
- ご退職年月日 平成19年11月30日
- 教科／ 英語
- 主な校務 教務、進路
- 趣味／ 音楽鑑賞（退職後：囲碁、チェス）
- 部／ 英語部、バトミントン同好会

- 奉職年月日 昭和47年4月1日
- ご退職年月日 平成20年2月24日
- 教科／ 保健・体育
- 主な校務 保健衛生
- 趣味／ 料理作り、酒、演歌
- 部／ サッカー部

平成19年度は、青木正明先生、南谷光一先生のお二人がご退職となりました。青木先生は英語の教師として熱く指導をされ、英語科の主任としてもながく活躍されました。南谷先生は保健体育を担当され、特に、35年にわたりサッカー部監督の任にあり、多くの人材を育てあげられました。

同窓生一同、先生方の新しき人生がますます幸多いことをお祈り申し上げます。

同窓会からのお知らせ

◎平成19年度総会において母校創設50周年記念行事の一環として、祝福する行事として次の実行委員会が決定されました。

(1)校舎新築寄付金検討委員会（委員長に久保田光会長）

母校50周年記念行事の一環として校舎を建て替える事になりました。その資金の一部を同窓会積立金の中から寄付をしようとする主旨です。現在、多角的見地から寄付金の額は検討中です。

(2)母校創設50周年記念誌・同窓会誌編集委員会

母校創設50周年記念誌を発刊するにあたり、母校高桑校長先生にもお願いし同窓会誌も併刊させて頂く事になりました。同窓会における編集委員を中心に編集作業が進められております。完成予定は平成21年7月を予定しております。購入者希望等の受付方法は別途ご案内の予定です。

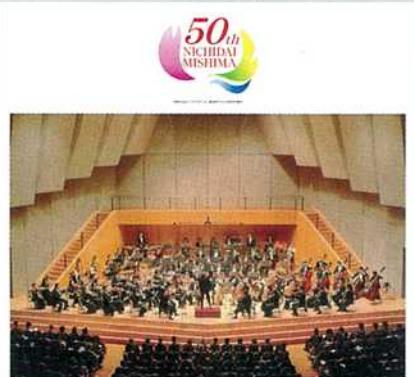
(3)記念講演・イベント委員会（委員長に藤幡俊量副会長）

学校行事を後援する形で同窓会と共に開催しようとする主旨です。決定している行事は平成20年10月3日の三島市民文化会館において仙台フィルハーモニーを招聘しての演奏会です。対象者は在校生です。なお、総会で650万円の予算も承認されました。（右のポスターができました。）

他に一般の人を対象に記念講演会も実行したいと考えております。



静桜倶楽部の面々、
富士支部長、日置信弘氏より



仙台フィルハーモニー管弦楽団公演

日本大学三島高等学校同窓会共催
後援 三島市・三島市教育委員会

2008.10.3 Fri 時 間 11:00～12:30 14:00～15:30

お問い合わせ 日本大学三島高等学校事務課 TEL.055-988-3500 まで

日本大学三島高等学校
同窓会共催
(お問い合わせは、日本大学
三島高等学校事務課
TEL 055-988-3500 まで)



平成19年5月20日
同窓会、女子部会、桜陵祭に参加

